



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月6日

上場会社名 伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2296 URL <https://www.itoham-yonekyu-holdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 功

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長 (氏名) 加藤 勝

TEL 03-5723-6889

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	728,220	3.8	20,727	13.3	23,401	10.0	15,366	13.4
2023年3月期第3四半期	701,596	7.0	23,917	3.4	26,011	2.9	17,754	4.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 20,126百万円 (1.1%) 2023年3月期第3四半期 19,917百万円 (6.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	269.80	269.71
2023年3月期第3四半期	306.49	306.37

(注) 2023年10月1日付で、株式併合(普通株式5株を1株に併合)を実施しました。

上記の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	483,761	282,516	58.3
2023年3月期	436,763	269,261	61.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 281,828百万円 2023年3月期 268,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		24.00	24.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				125.00	

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2023年10月1日付で、株式併合(普通株式5株を1株に併合)を実施しました。

上記の2024年3月期(予想)年間配当金合計については、単純合算が適切でないため、「-」と表示しています。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	930,000	0.8	23,000	0.0	25,000	4.0	15,000	11.6	263.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	57,471,011 株	2023年3月期	57,471,011 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	526,473 株	2023年3月期	526,552 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	56,955,917 株	2023年3月期3Q	57,928,432 株

(注)2023年10月1日付で、株式併合(普通株式5株を1株に併合)を実施しました。

上記の期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)については、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、算定しています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算発表後、四半期決算説明資料をTDnetに開示し、当社ホームページにも掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

○国内経済の状況

雇用環境の改善や個人消費の一部持ち直しの動きに伴い、景気は緩やかな回復基調となりました。その一方で、不安定な国際情勢を背景とした資源価格の変動や金融・為替市場の動向が国内経済や物価に影響を及ぼす状況が続いています。

○当業界の状況（食肉加工業）

原材料価格や物流費の上昇に加え、光熱費や包材費の高止まりが続く中、円安進行の影響も受ける厳しい経営環境が続きました。また、社会経済活動の正常化により消費者の購買意欲は一時的に上向いたものの、生活コスト全般の上昇に対する節約志向が徐々に高まり、消費マインドに停滞感が出てきています。このような状況の下、消費行動の変化やデジタル化の加速、サステナビリティに対する関心の高まりなど、急速に変化し多様化する消費者ニーズや価値観への対応が引き続き求められています。

○当社の経営成績と概況

◇連結経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
728,220	3.8	20,727	△13.3	23,401	△10.0	15,366	△13.4

「中期経営計画2023」で掲げる4つの重点取り組み方針と財務戦略に基づき、以下の施策を実施しています。

重点取り組み方針	主な施策
経営基盤の強化	戦略単位での組織再編の実行、デジタル戦略の推進
収益基盤の強化	生産及び物流拠点再編の推進、和牛輸出の強化
新規事業・市場への 取り組み	冷凍食品の強化、ノンミート商品の定着、ヘルスケア事業の強化
サステナビリティへの 取り組み	温室効果ガス排出削減、人権デュー・ディリジェンスの実施、 アニマルウェルフェアへの配慮

財務戦略では、投下資本利益率（ROIC）の向上を目指すことに加え、財務健全性と資本効率性を勘案した株主還元策によって株主価値の最大化を図るため、配当性向40%を目途に安定的に増配することを掲げています。また、自己株式の取得については、当年度は20億円の取得枠設定を行っています。

◇報告セグメント別の経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益	
	百万円	%	百万円	%
加工食品事業	301,725	4.2	8,557	12.0
食肉事業	426,482	3.5	15,811	△17.7

<加工食品事業>

- ・ハム・ソーセージは、テレビコマーシャルの投入や消費者キャンペーンの実施により、「The GRAND アルトバイエルン」「朝のフレッシュシリーズ」「御殿場高原あらびきポーク」等、家庭用主力商品の拡販に努めたことに加え、業務用商品の販売が堅調に推移したことから、売上高は増加しました。
- ・調理加工食品は、「ラ・ピッツァ」「ピザガーデン」などのピザ類や「サラダチキン」、大豆ミートを使用した「まるでお肉!シリーズ」等、消費者ニーズの多様化に対応した商品の拡販に努めたことに加え、業務用商品の販売が伸長したことから、売上高は増加しました。
- ・原材料価格や物流費の上昇が続く厳しい状況においても、商品価格改定による効果に加え、コスト削減等の取り組みを進めたことにより、加工食品事業全体の売上高、経常利益ともに増加しました。

<食肉事業>

- ・国内事業は、国内生産施設の増強や外食需要の回復等により販売数量が伸長したことから、売上高は増加しました。利益は、配合飼料価格の高止まりや保管料を含めた物流コストの上昇による影響を受けたものの、輸入牛肉や輸入鶏肉を中心に製販連動した収益管理を徹底した結果、増益となりました。
- ・海外事業は、前年の世界的な牛肉需要の高まりが一段落した状況の中、アンズコフーズ社において牛肉の販売価格が下落したこと等により、売上高、経常利益ともに減少しました。
- ・食肉事業全体の売上高は増加しましたが、経常利益は海外事業の減益の影響を受けて減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

- ・総資産は、前連結会計年度末に比べて46,998百万円増加し、483,761百万円となりました。
増加要因：売掛金の増加
- ・負債は、前連結会計年度末に比べて33,743百万円増加し、201,245百万円となりました。
増加要因：短期借入金、買掛金の増加
- ・純資産は、前連結会計年度末に比べて13,254百万円増加し、282,516百万円となりました。
増加要因：利益剰余金、為替換算調整勘定の増加

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想については、2023年5月9日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,736	23,150
受取手形及び売掛金	95,323	138,444
商品及び製品	97,801	96,567
仕掛品	2,020	1,459
原材料及び貯蔵品	22,920	26,376
その他	15,681	10,364
貸倒引当金	△20	△22
流動資産合計	256,463	296,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	36,935	36,897
機械装置及び運搬具（純額）	29,091	28,728
工具、器具及び備品（純額）	1,454	1,398
土地	26,368	26,798
リース資産（純額）	2,797	2,897
その他（純額）	4,825	8,232
有形固定資産合計	101,472	104,953
無形固定資産		
のれん	18,286	17,186
その他	8,555	9,421
無形固定資産合計	26,842	26,607
投資その他の資産		
投資有価証券	30,302	31,867
退職給付に係る資産	15,307	17,533
その他	6,462	6,636
貸倒引当金	△88	△178
投資その他の資産合計	51,984	55,858
固定資産合計	180,299	187,420
資産合計	436,763	483,761

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,978	74,768
電子記録債務	1,991	1,595
短期借入金	32,062	54,735
1年内返済予定の長期借入金	10,126	10,112
未払法人税等	5,024	2,992
賞与引当金	6,163	3,462
役員賞与引当金	161	132
災害損失引当金	329	-
その他	30,103	37,607
流動負債合計	152,941	185,406
固定負債		
長期借入金	446	365
退職給付に係る負債	1,653	1,641
資産除去債務	1,469	1,464
その他	10,991	12,367
固定負債合計	14,560	15,838
負債合計	167,501	201,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,003	30,003
資本剰余金	89,427	89,430
利益剰余金	140,066	148,599
自己株式	△1,841	△1,848
株主資本合計	257,655	266,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,708	7,430
繰延ヘッジ損益	△828	△1,005
為替換算調整勘定	2,237	5,735
退職給付に係る調整累計額	2,835	3,483
その他の包括利益累計額合計	10,952	15,643
新株予約権	77	77
非支配株主持分	576	610
純資産合計	269,261	282,516
負債純資産合計	436,763	483,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	701,596	728,220
売上原価	596,433	623,353
売上総利益	105,163	104,866
販売費及び一般管理費	81,246	84,138
営業利益	23,917	20,727
営業外収益		
受取利息	59	183
受取配当金	375	374
受取賃貸料	343	359
助成金収入	994	2,166
持分法による投資利益	308	351
その他	850	699
営業外収益合計	2,931	4,134
営業外費用		
支払利息	529	1,286
不動産賃貸費用	108	103
その他	199	70
営業外費用合計	837	1,460
経常利益	26,011	23,401
特別利益		
固定資産売却益	61	1
投資有価証券売却益	0	188
企業結合に係る特定勘定取崩益	-	550
特別利益合計	61	740
特別損失		
固定資産除却損	242	158
災害による損失	-	248
工場閉鎖関連損失	-	823
その他	12	51
特別損失合計	254	1,282
税金等調整前四半期純利益	25,818	22,859
法人税、住民税及び事業税	6,987	6,421
法人税等調整額	1,037	1,029
法人税等合計	8,024	7,451
四半期純利益	17,793	15,408
非支配株主に帰属する四半期純利益	38	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,754	15,366

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	17,793	15,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	187	827
繰延ヘッジ損益	△1,464	△177
為替換算調整勘定	2,824	2,903
退職給付に係る調整額	△274	616
持分法適用会社に対する持分相当額	851	546
その他の包括利益合計	2,124	4,718
四半期包括利益	19,917	20,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,837	20,057
非支配株主に係る四半期包括利益	80	68

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業	食肉 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	289,645	411,941	701,586	10	701,596	-	701,596
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,320	62,449	82,769	615	83,385	△ 83,385	-
計	309,965	474,390	784,355	626	784,981	△ 83,385	701,596
セグメント利益	7,638	19,210	26,848	55	26,903	△ 891	26,011

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人事給与関連業務サービス等です。

2. セグメント利益の調整額の主な内容は、のれんの償却額△1,041百万円等です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業	食肉 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	301,725	426,482	728,208	12	728,220	-	728,220
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29,219	54,478	83,697	672	84,369	△ 84,369	-
計	330,944	480,960	811,905	684	812,589	△ 84,369	728,220
セグメント利益又は 損失(△)	8,557	15,811	24,368	△ 181	24,186	△ 784	23,401

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人事給与関連業務サービス等です。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額の主な内容は、のれんの償却額△1,041百万円等です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの組織再編に伴い、「その他」の区分に含まれていた物流事業を、加工食品事業及び食肉事業それぞれのセグメントに含めて表示することに変更しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。